

日根野中だより

令和6年3月8日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

※公立一般入試(3/11)…がんばってください!

「卒業」…この大切な節目に…

東日本大震災から3月11日(月)で13年…防災を考える…

もうすぐ3年生は「日根野中学生」としての最後の日…「卒業式」を迎えます。卒業証書を受け取った時点で「卒業生」に…。もちろん日根野中学生の籍は3月31日までなのですが、卒業式後は通常「卒業生」になってしまいます。寂しい話にはなりますがこれが現実です。また、卒業式は、従来通りの華やかな準備はできませんが、卒業式を迎えることができる…その幸せは噛みしめなければいけません。今年元日に起きた能登半島地震や世界に目を向ければ戦争等が起きている今、普段通りの生活の中で、節目になる日を迎えることができる幸せ…当たり前なことが当たり前存在している幸せを感じなくてははいけません。

先日、13年前の東日本大震災を取り上げた特別番組の中で、中学校の卒業式が出来ず、今を生きている青年の話がありました…。そんなことがあるとは想像すらしていない人がほとんどだとは思いますが、そんな現実もあるということを知っておくべきです…。その事実から考えると、今、自分は幸せなのだと思えるのではないのでしょうか…?

ただ、いつ災害が起きても不思議ではない今…。その災害への備えについては、いろいろ考えられています。準備物・考え方・知識等…あらゆる側面からの備えはもちろんですが、何よりの備えは、今を真剣に生きること…何気なくではなく…やる気がないような素振りなど見せることなく…ただただ幸せを感じ、その瞬間を全力で生きることではないですか? これこそが最も必要な災害への備え…命を守る「防災」に必ず繋がるものだと思います…。

3月13日、3年生にとって日根野中学生として過ごすことが出来る最後の日…。そんな大切な一日を、もっと広い視野を持って迎えてほしい…。未だ復興へ道のりは厳しく感じる能登半島の現状…東日本大震災から13年を迎えるニュース報道で見聞きする中…感受性が豊かな今…人として成長した心を持ち合わせた「今」…まさに今こそ成長できる時…。そんな意義深い卒業の日…その日一日を、大切に過ごしてほしい…そう願います。

卒業に向けて…日根中では…

学校内では、3月13日の卒業式に向けてあらゆる準備を進めてきました。一人ひとりに渡される卒業証書についても、先日もご紹介した通り、一枚一枚本当に丁寧に清書していただける書道の先生にお願いし、仕上げていただきました。手に取ると、人のぬくもりを感じるような…その仕上がりを楽しみにしててください。みなさんにとって「唯一無二」の一枚になったと思います。また、ホームページにも紹介しましたが、プール跡地の花壇…。これは教頭先生、校務員さんが中心になって普段から整備してくれています。ただ、花壇が大きすぎるため、華やかに感じるほど手入れが進みませんでした…。しかし先日、2月26日(月)の放課後、委員会活動を中心に花壇に「パンジー」で卒業に向けての花文字「祝」を植え込んでくれました。雑草類の根が張り巡らされ、植え込みまで時間がかかりましたが、力を合わせて作業してくれました。また、校庭に咲く桜の木も、しっかりと冬の寒さに耐え、つぼみを大きくしています…。卒業の日、花ひらくのでは?…と、楽しみにしています。これら紹介したものだけでなく、今の日根野中学校を心の目でよく見ると、あらゆる所に、3月13日の卒業に向けた…気持ちのこもった「思いやり」がたくさん見えてきます…。その中であたたかく見守られ続けた日根野中学校とも、3年生はもうすぐお別れ…。大切なスタートを切るためにも在校生も含め、みんな心一つに、よい卒業式にしていきたいと思います。ご協力よろしくお願いします!



卒業式当日(3/13)について…お願い…

3月13日の卒業証書授与式の開式は9時30分になっています。保護者のみなさまの式場への入場は9時0分～9時20分の間でお願いしています。ご理解ください。また式場への参列は保護者の方のみとさせていただいております。ご理解ご協力いただきますよう重ねてお願いします。式自体は1時間程度を考えております。1,2年生には式当日、自宅学習の指示を出しております。卒業していく3年生を全員で送り出してあげたい気持ちは十分に理解できますが、コロナ禍を何とか乗り切った今、新しい形の学校、様々な行事を考えていく中で、卒業証書授与式の在り方も考えていかなければなりません。卒業生たちの心が通い合う場所・時間に…。これが一番に考えています…。そのあたりを理解していただき、卒業生への思いを馳せながら、自宅での学習活動に励むよう声かけをお願いします。お願いばかりで、心苦しく思いますが、何よりも卒業生同志の思いが伝わる式典を…。ご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

心あるかぎり
言葉は生まれ
言葉あるかぎり
人は心を表現し成長する…
傷つけ合うためではなく
わかり合い成長するため!!